

引用文献の書き方

情報リテラシーセミナー2010
大学図書館

引用のある文 vs ない文

■ 引用と説得力

【例文1】脳の活動には、朝食をきちんととることが重要であると考えられる。これは朝食により、脳に必要な栄養素を摂取できるからである。

【例文2】先月実施された全国統一学力テストでは、朝食を毎日きちんと取る子供の平均点が、朝食を抜く子供の平均点より約10%高いという結果になり、学習能力と朝食摂取には関連性があることが裏づけられた。

他者の意見・事実で自説を補強！

文献の引用の仕方

■ 引用の種類

- 文献の内容を「表記通り」に自分の文章に組み込む
- 文献の内容を「要約して」組み込む

■ 引用のマナー

- 前後の文脈を無視して、都合の良い部分だけを引用してはいけない
- 要約する場合には、著者の意図を歪曲しない

具体例 (1)

■ 括弧をつけてそのまま引用

谷川氏の表現を引用すれば、「支配的文化なるものは単一の階級文化で代表されるわけではなく、利害を異にする複数の指導的文化の競合と相互規定による一時的帰結、もしくは流動的態様」にすぎず、民衆文化も同様に心性を異にするサブカルチャーが前者の圧力を受けながら錯綜して混在しているのにすぎない。」(傍点・ルビ原文)

福井憲彦・谷川 稔・原田一美・谷口健治・田中正人・渡辺和行・小林 亜子・小山静子・橋原彌生・山田史郎・村上真弓・藤川隆男・常松 洋・小澤英二・松井良明「規範としての文化-文化統合の近代史」『史学雑誌』100.9(1991)、1604-1614。

☛ 基本は「」や“ ”で括弧だけでOK

☛ 3行程度まで

具体例 (2)

■ 長い引用はインデントを下げる

ここでは自然と世界が調和し、生きとし生けるものがその存在を祝福されている。

How sweet is the Sphepherd's sweet lot!

From the morn to the evening he strays:

(中略)

彼が見守っているあいだ羊たちは平和でいられる、
だって羊たちは羊飼いが近くにいるのを知っているから。
(『羊飼いの』)

牧歌の俚言はギリシアのテオクリトス(Theocritus, 310-250 BC)にまでさかのぼる長い歴史がある。ローマのウェルギリウス...

松島正一「牧歌と無垢ーブレイクの初期の詩」『文学部研究年報』53(2006)、95-116。

☛ 文字を小さくしたり、一部省略もできる

具体例 (3)

■ 要約して引用

上に述べた「肉体なき視線」とは、小説世界を操作する「身体性を欠いた亡霊の視線」と言えようか。自伝のなかで言っているように、生きているうちから死の領域にいるかのように肉体性を消去し観察する視線だけの存在になることをハーディは願っていた。⁽⁸⁾...

... (中略) ...

(8) Michael Millgate, *The Life and Work of Thomas Hardy* (Macmillan, 1984) 218

橋本慎矩「ハーディの『亡霊』とはなにか?—小説から詩へ」『学習院大学文学部研究年報』54(2007)、37-53。

☛ (8)の自伝の内容を、下線部のように要約して引用

引用のし方

■ 注方式

← 学習院の紀要はこちらのタイプが多い

- 文章中に注番号を組み込み、詳しい文献情報を章末・巻末の注に記載(法学部は脚注)

例)文中: ○○である¹⁾ 巻末の注: 1) 文献の著者名・書名など

■ 著者年方式

- 文献情報の一部を本文中に組み込み、文献表と対応させる

例)文中: ○○である(著者名 年) 巻末に文献表: 著者名・書名など

文献の記述様式はいろいろ

- MHRA, MLA, **SIST02**など 日本の基準
- 提出する先によって書式は異なる “SIST02”で検索!
 - 先生(学部), 学会に確認する
- 複数の書式を混在させない
- MHRA (Modern Humanities Research Association)方式で説明

MHRA形式(1)

■ 書籍(基本形)

- 著者名, 書名, (出版場所), 出版社, 出版年

日下部正哉 『宮崎駿という運動』(弓立社, 2008)

Tom McArthur, *Works of Reference: Lexicography, Learning and Language from the Clay Tablet to the Computer* (Cambridge: Cambridge University Press, 1986)

■ 翻訳書籍

ニール・ゲイブラー (Gabler, Neal) 『創造の狂気ウォルト・ディズニー』
中谷和典訳 (ダイヤモンド社, 2007)

Jean Starobinski, *Montaigne in Motion*, trans. by Arthur Goldhammer (Chicago: University of Chicago Press, 1986)

MHRA形式(2)

■ 論文集, 複数の著者がいる場合

渡辺達朗他 『流通論をつかむ』(有斐閣, 2008)
渡辺達朗, 原頼利, 遠藤明子, 田村晃二, 『流通論をつかむ』(有斐閣, 2008) 著者名の順序を変えない

『ヨーロッパにおける人間観の研究』古田光編 (未来社, 1982)

David Held et al. *Global Transformations: Politics, Economics and Culture*. (Stanford, CA: Stanford University Press, 1999)

David Held, Anthony McGrew, David Glodblatt, Jonathan Perraton, *Global Transformations: Politics, Economics and Culture*. (Stanford, CA: Stanford University Press, 1999)

Emily Dickinson selected letters, ed. by Thomas H. Johnson (Cambridge, MA: Harvard University Press, 1971)

MHRA形式(3)

■ 論文集の中の論文や雑誌記事など

論文の著者名・書名 論文集の著者名・書名
日置利次 『横光利一とシベリア鉄道』『横光利一 欧州との出会い—「
洲紀行」から「旅愁」へ』井上謙他編 (おうふう, 2009) pp.141-153.
福井憲彦 『岩倉使節団の見たパリ』『学習院史学』34(1996), 157-167.

Fanni Bogdanow, 'The *Suite du Merlin* and the Post-Vulgate *Roman du Graal*, (in) *Arthurian Literature in the Middle Ages: A Collaborative History*, ed. by Roger Sherman Loomis (Oxford: Clarendon Press, 1959), pp.325-335

Richard Hillyer, 'In More than Name Only: Jonson's "To Sir Horace Vere"', *MLR*, 85(1990), 1-11.

引用時の留意点

■ 引用したページ数を特定したいとき

- 注方式の例: 巻末・章末の注にページ数を記載

- 1) 渡辺達朗他 『流通論をつかむ』(有斐閣, 2008) (p.57)
- 2) Richard Hillyer, 'In More than Name Only: Jonson's "To Sir Horace Vere"', *MLR*, 85(1990), 1-11 (pp. 2-3).
- 3) 渡辺達朗他 前掲書 (p.128)

■ 引用元の著者名は呼び捨てに

- 「～先生」「～氏」は不要

■ 法学系は判例集・誌名などの略称にも注意

【参考文献】

佐渡島紗織, 吉野亜矢子 「これから研究を書くひとのためのガイドブック」(ひつじ書房 2008)

演習

- 引用文献の表記方法